

「礼」(奉書包み紙から 中身を取り出す) 卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。 「座ってください。」(手で合図する)

厳しい冬も終わりを告げ、

厳しい冬に終わりを告げ、桜のつぼみもふくらみを増した今日の佳き日に、保護者の皆様のご臨席を賜り、本校第四十一回卒業式が挙行できますことは、私どものこの上ない喜びであり、心から感謝申し上げます。(礼)

さて、小学校六年間の課程を修了し、本日、東ときわ台小学校を巣立ち行く卒業生の皆さん、改めまして、ご卒業おめでとうございます。

思えば、皆さんが3年生の生活を終えようとしていた頃からコロナ渦となり、先の見えない不安な日々を過ごす中で、いろいろと不便を強いてしまったところがあったのではないかと感じています。しかし、そのような中でも皆さんは本当によく頑張りました。中には、より良い学校にしようと、校長室に来てしっかりと意見を言ってくれた人もいました。そのたびに私自身頑張らなければならないという気持ちになるとともに、皆さんに頼もしさを感じていました。皆さんは六年間の小学校生活を立派にやり遂げ、素晴らしい思い出をたくさん残して、今、飛び立とうとしています。

巣立ちの日にあたり、二つお話をします。

まず、最初のお話です。

皆さんもご存知かもしれませんが、私にとって算数・数学は子どものときから好きな教科の一つでした。実は、その算数・数学の授業の中で、忘れられない衝撃を受けたことがあります。それは、中学2年生で学習した「解なし」、つまり「答えがない」という答えに出会ったことでした。

それまでは、 $1+1=2$ や $2\times 3=6$ のような1つの答えを出していたなかで、「解なし」という答えに出会い、「答えがないことも正解なんだ」という驚きを感じたことを今でもよく覚えています。その後も、答えが複数あるものや、場合によっては無数にあるものもあり、様々な答えがあることを知りました。

皆さんはこの東ときわ台小学校で、様々なことを学んできました。しかし、正解が一つしかないことを前提とした学習ばかりをしてきたわけではありません。日々の授業はもちろん、事前の準備から懸命に取り組み、命を大切にすることを深く学んだ修学旅行、仲間とともに精一杯全力を発揮した運動会、協力することの大切さを改めて感じた海洋学習や児童会カーニバル、先日の6年生を送る会。これらに取り組む中で、力の限りを尽くしたことに喜び合い、互いに心通った日もあったでしょう。しかし、そういった中でも、きっとすぐに1つの答えにたどり着いたことばかりではなかったのではないのでしょうか。むしろ、ケンカをしたり、叱られたり、ふとしたことで友達とすれ違ってしまったことに、涙した日もあったでしょう。それでも皆さんは、決してあきらめることなく、たくさんの時間を費やして、話し合い、協力し合いながら、お互いの良いところを認め合い、そして、改善すべきところもきちんと伝え合いながら、たとえ「1つしかない正解」ではなかったとしても、より良い「最適解や納得解」であったとしても、自分たちの答えを探し求めることがたくさんあったのではないのでしょうか。

これから歩む中学校生活の中でも、正解が一つしかないものばかりではありません。きっとその先の未来でもそうでしょう。

皆さんに伝えたいことの一つ目は

「答えはいつも1つだけとは限らない。たとえ、正解のない問いにぶつかったとしても、これまで皆さんが取り組んできたように、お互いを尊重しながら、協力し合い、自分たちの答えを模索し、見つけてほしい。そして、困っている人を支え、周りの人を幸せにする、これからもそのような人でいて欲しい」ということです。

次に、二つ目のお話です。

皆さんは、この卒業式を終えて4月からは中学生になります。新しい中学校生活を楽しみにしている人も多いことでしょう。さて、皆さんはどうして中学生になれるのか分かりますか。

中学校の入学式の日が来るからでしょうか。年齢が13歳になる年だからでしょうか。きっと、それだけではないはずです。月日が流れたから自動的に、エレベーターで次の階へ行くように、中学生になるわけではありません。

皆さんが中学生になれるのは、今までにたくさんの人が、応援し励まし、そして支えてくれたからです。これまでに出会った人を思い出してください。ここにいる小学校のなかまや先生方、側でいつも見守ってくださっている保護者の方々、そしてご家族。

直接出会った人ばかりではありません。様々な場面で皆さんに関わってくださった人が、たくさんいます。皆さんは、たくさんの人の応援や励まし、支えがあったからこそ、今日こうして無事に小学校を卒業し、中学生になることができるのです。皆さんは、決して自動的に中学生になるわけではありません。

皆さん、ご家族の方々や地域の皆さま、なかま、そして先生方にいつも励まし支えられ、ここまで来たことを忘れないでください。今日このあと、家に帰ったら、ご家族の方に「無事小学校を卒業できました。」と報告をしてください。そして中学生になった際に、この話を思い出し、素直な気持ちと感謝の気持ちをもって人と接する、そのようなことを大切にしてほしいと思います。これが、伝えたいことの二つ目です。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。(左・右 礼)

小さな体に大きなランドセルを背負うお子様の姿など、きっと入学した日のことが走馬燈のようによみがえっている事と思います。今日までお子様を慈しみ、はぐくまれた日々には、様々な一日があったことと拝察いたします。その子どもたちも今日ここに見事に成長して、卒業の日を迎えました。この六年間、いつも温かな気持ちで学校にご協力していただきましたことに、心から感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。(礼)

さて、卒業生の皆さん、今日この後から、東ときわ台小学校はあなたの母校となります。四月から始まる新しい生活の中で、あなたの母校の先生方全員がいつもいつまでも、大好きな皆さんのことを、心から応援していることを忘れないでください。そして、ぜひ、様々なことに挑戦し、頑張ってください。

卒業生の未来が希望に満ちた輝かしいものになることを祈念して式辞といたします。